

放射線治療センターをご紹介します

当センターの放射線治療機トモセラピー (Tomotherapy) による放射線治療が開始され昨年で5年目を迎えることが出来ました。治療患者数も500名を超え、福島県内をはじめ他県のみなさまに御利用を頂いております。特に前立腺がん・頭頸部がんの治療を中心に行ってまいりましたが、昨年末の機器の更新に伴い、新たに乳腺・緩和治療などの様々な治療にも可能な限り積極的に対応してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

放射線治療とは

現在のがん治療において放射線治療は、手術による外科療法、抗がん剤による化学療法と並ぶがん治療の3本柱のひとつです。放射線の細胞分裂を止める作用により腫瘍を小さくさせます。手術をすれば傷跡が残り、身体の形や機能が損なわれるような場合でも、放射線療法では切らずにがんを治療することが可能です。また、体への負担が少ないので御高齢の方、合併症があっても手術が受けられない方でも治療できるメリットの高い治療です。

放射線治療の目的

放射線治療をその目的で分類すると、根治的照射、予防的照射、術前・術後照射、緩和的照射に大きく分類されます。

根治的照射：完全な治癒を目的とした放射線治療です。主に遠隔転移のないがんが対象となり、最近では抗がん剤などを併用する根治的照射が増えています。

予防的照射：手術や抗がん剤で治療して“がん”が消失した後の再発予防を目的とした放射線照射です。手術をしやすくするための術前照射や、術後の再発を予防する術後照射なども増えています。乳がんでは主として術後の再発予防に放射線治療が行われます。

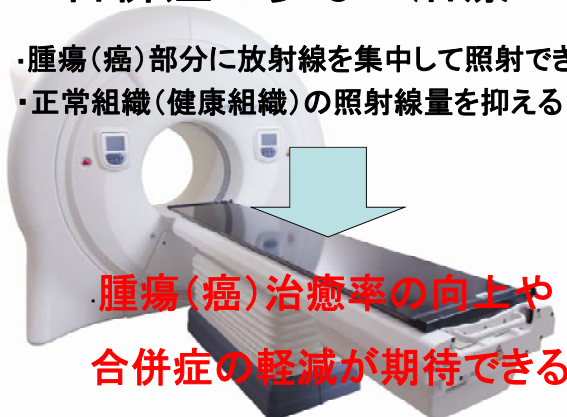
緩和的照射：進行がんや転移がんにより起こる様々な症状を緩和する目的で行う放射線照射です。転移がんによる症状の緩和に使用されることが多く、骨転移による疼痛、脳転移による頭痛・嘔気・麻痺などの症状、あるいは肺転移、肝転移、リンパ節転移などによる症状緩和に対して行われます。また原発巣の“がん”の浸潤や正常組織の圧迫などによる症状（疼痛、嚥下困難、血流障害、神経障害など）の緩和にも適応されます。

放射線治療センターの放射線治療機 (Tomotherapy) の特徴

1. 患者に優しい治療

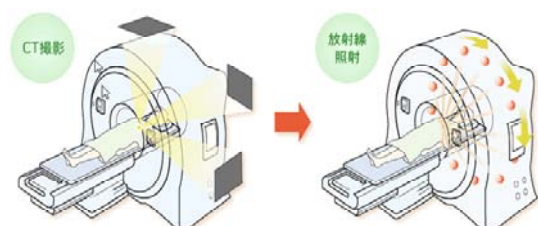
合併症の少ない治療

- ・腫瘍(癌)部分に放射線を集中して照射できる
- ・正常組織(健康組織)の照射線量を抑える



2. 精度の高い治療

正確な治療

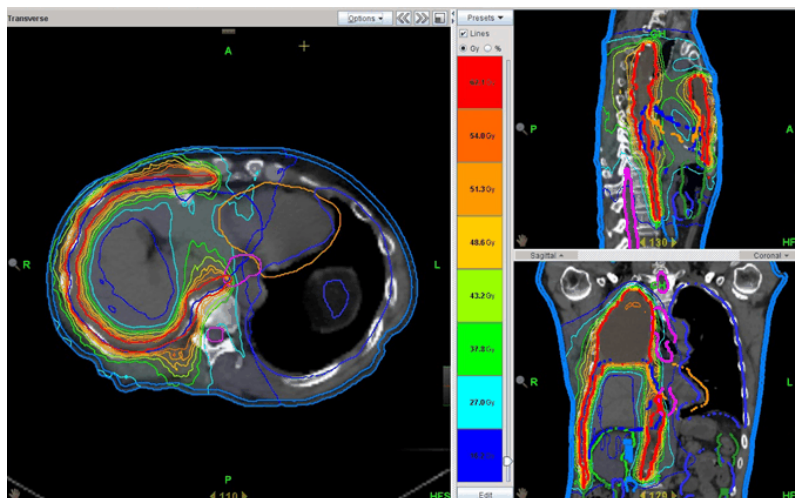


臓器の位置は絶えず変化します照射(治療)直前にCTを撮影し病巣部や周囲組織の位置などを確認してから照射を行います

3. 広く複雑な照射も可能

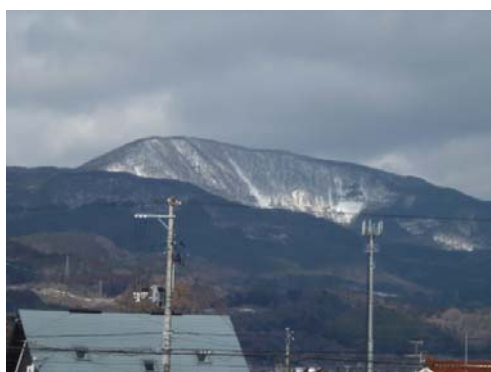
広い範囲・複雑でも病巣の形に合わせた照射が可能です

赤い部分が病巣です。
複雑で広い病巣部に放射線を集中させることが可能です



放射線治療センターのスタッフ

治療センターでは皆様に安心して放射線治療を受けて頂くために専門性の高い、放射線治療専門医師・医学物理士・放射線治療専門技師・品質管理士・専任看護師が在籍しております。



治療センターの患者待合室からは半田山が望めます。春には桃の花がとても綺麗です。



■ 治療のお申し込み ■

北福島医療センター医療連携室
電話 024-551-0101(直)
FAX 024-551-0104

■ 治療の適応などの専門的なお問い合わせ ■

北福島医療センター放射線治療センター
電話 024-551-0485(直)
FAX 024-551-0486

在宅ケア地域連携カンファレンスが開催100回を迎えました

このカンファレンスは伊達地域で在宅医療にかかわっている医師・薬剤師・看護師・ケアマネジャー・介護士・ソーシャルワーカー・連携室担当者等の多職種で行っている勉強会です。医師が順番に症例を提示し、顔の見える関係づくりをしながら意見交換を行っています。

平成18年6月から北福島医療センターで毎月開催されていて、今年の1月15日の開催で数えること100回目を迎えました。

今後も、地域医療の密なネットワーク構築のため、このカンファレンスを続けていければと思っています。

保原中央クリニック ペインクリニック
佐藤 智子



桑名医院 桑名 俊光 先生
おの整形外科クリニック 小野 勝彦先生
その他、在宅医療に係わる職種の皆さん

第83回地域けんこう講座のご案内

今月のお話

「おくすりのはなし」

- 1、くすりの飲み方について
(食前?食後?何か意味があるの?)
- 2、くすりの副作用について
(薬にも良いところと悪いところがある?)
- 3、くすりのアレルギーについて
(個人の体質が関わってる?)
- 4、くすりの止め方について
(症状がなくなったら、すぐやめていいのかな?)



- 日 時:平成27年2月21日(土)午後2時~午後3時頃まで
- 場 所:北福島医療センター 1階オーチャードホール
- 講 師:北福島医療センター 副院長 医療安全管理室長
医療メディエーター 志賀 隆 医師

栄養科から

入院中に患者様方が召し上がりたい食事のベスト3にランキングされるのが、握り寿司です。そこで今回は握り寿司に挑戦しました。

「まさか入院中に、にぎりを食べれるとは思わなかった」「たまげた！！」

「いまどきの病院の食事はすごい」と患者様から喜びの声があがりました。

全く食欲の無い方々も「今日は頑張って食べたんだ」と空の食器を笑顔で、見せて下さいました。

患者様方の温かいお言葉にスタッフ一同、ほっこりした気持ちになったひと時でした。給食は型にはまった食事ではなく、遊び心があり美味しく・楽しい食事であればなりません。職員が一丸となってスペシャルな食事の提供を目指します。

1月27日(火)握り寿司を患者様にお届けしました。



お知らせ

●伊達市の 子宮頸がん検診・乳がん検診は、平成27年2月27日(金)までになります。

期間終了間際は混み合いますので、お早めに受診されることをおすすめいたします。

ご予約、お問合せは北福島医療センター 予防健診センター 024-551-0109(直通)までお願いいたします。

＜保原中央クリニックでは＞

●糖尿病教室 2月20日(金) 10:30～11:30

『口腔ケア ～歯周病・血糖コントロール』 日本糖尿病療養指導士がお話しします。

●ふれあいの日 2月17日(火) 10:00～12:00

『きめこみで作るお雛様 タペストリー』 (有料一体¥400)



●経営理念●

笑顔を咲かそう。

豊かな「人間性」と、高い「専門性」で、お客様と職員の「幸せ」という花を咲かそう。

●ブランドメッセージ●

皆様とともに

「仁泉会」は、多様な医療・介護施設を擁し、お客様の誕生から晩年までをサポートしている「公益財団法人」です。医療・介護分野としては、福島県第一号の認定であり、「地域への貢献」が評価され、信頼されている証です。私達は「豊かな人間性」と「高度な専門性」をさらに追求し、すべては、皆様の健康と幸せを創造するために、努力し続けます。

北福島医療センター 理念

私たちは、質の高い医療を提供し、地域に信頼される病院を目指します。

北福島医療センター 「リエゾン」編集係
TEL 551-0551 FAX 551-0808

E-mail jmo@jinsenkaï.or.jp
URL http://www.jinsenkaï.or.jp